

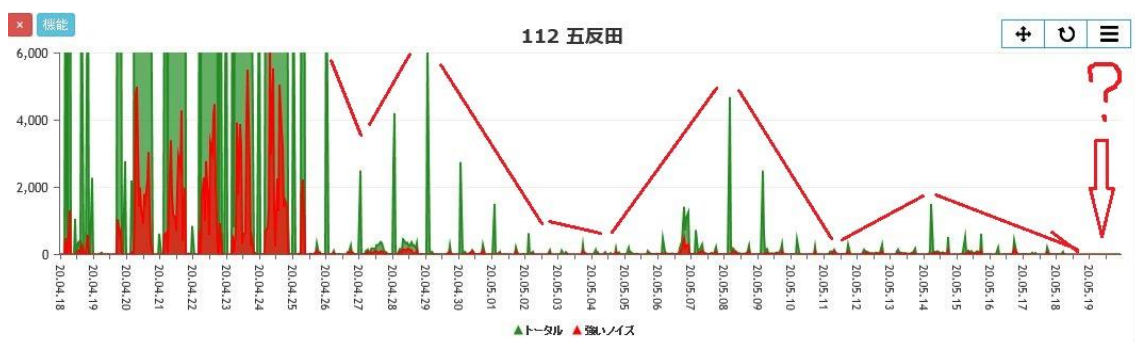
## 200518 関東~中部の収束状況について

2020年5月15日(金曜日)の段階で、数年に渡る長期に続いた五反田のデータが 急な収束を迎えおり関東、中部東海地方は 長野の群発などもあってここ数日は要警戒と考えましたが その後5月18日(月曜日)現在、大きな地震は起きていません。

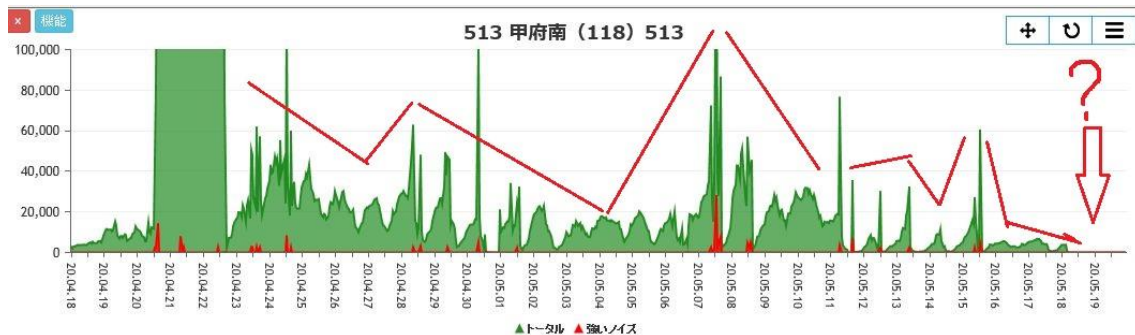
しかし五反田の長期データの収束は続いており 甲府、伊勢 E481 も反発することなく収束に向かっています。

五反田の このような長期のデータが収束するのは 2016年の熊本地震の前兆としての高知 B449 のデータの例がありますが 熊本地震は前震が M6.3 と2日後に M7.0 の本震が発生し、大きな被害になったことから しばらくは要警戒と考えます。

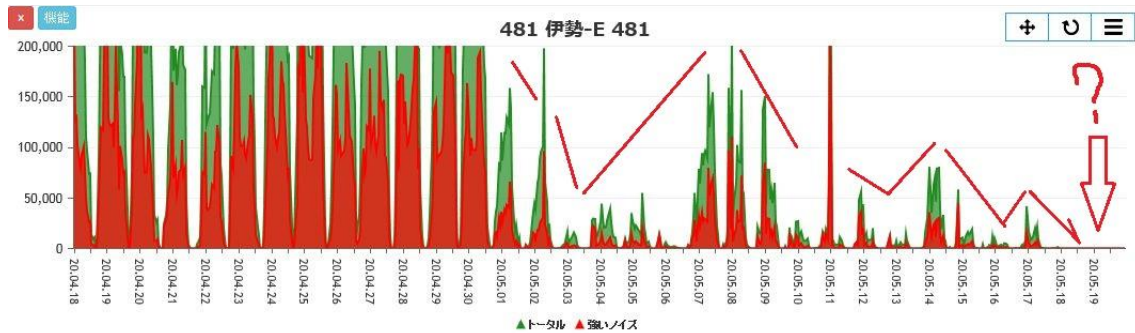
### 五反田 30日データ



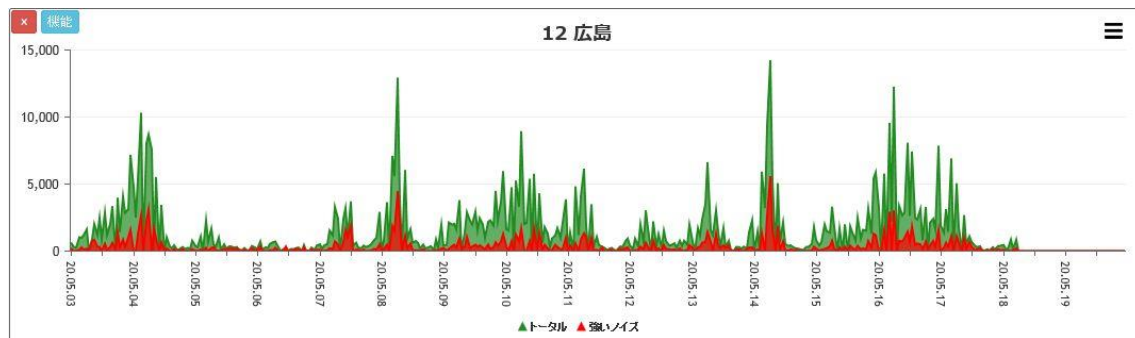
### 甲府 30日データ



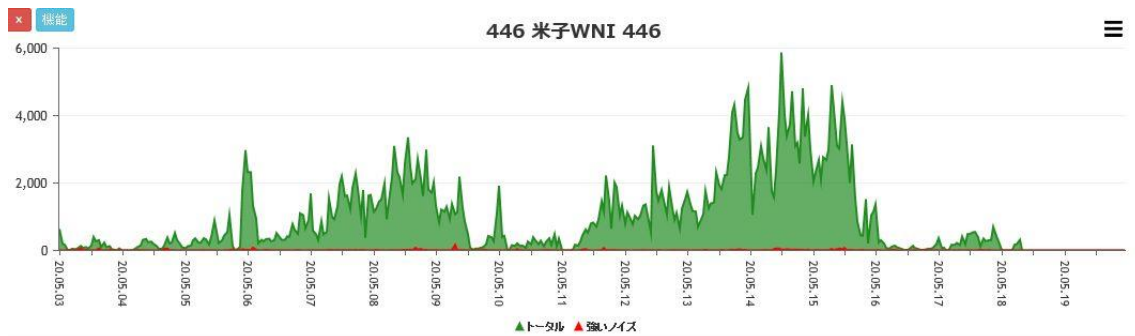
### 伊勢 E481 30日データ



## その他 広島 15 日データ



## 米子 15 日データ



## 位置関係



考察：以上のデータから 以下のように考えます (5月18日月曜日現在)

地震の規模 M6 超

震源の場所

内陸の場合：岐阜長野、静岡、神奈川

海側の場合：熊野灘（三重県沖）、遠州灘（愛知県、静岡県沖）

発生日 5月18日より3日間